

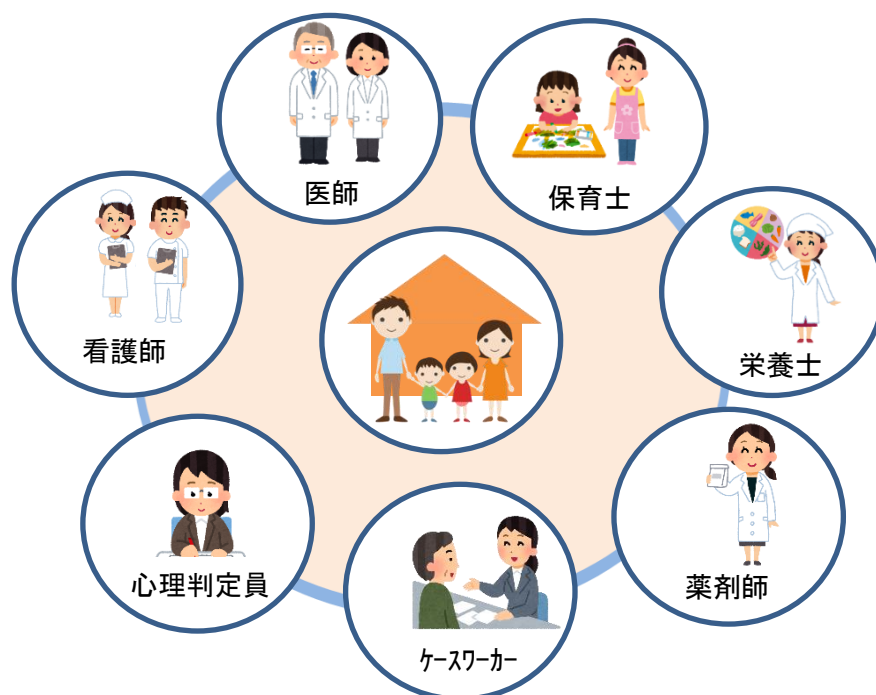
## あすなろ病棟 入院治療とは…

あすなろ病棟は三重県内唯一の児童精神科病棟として、子どものこころの病気や障がいの治療を行っています。中学生年代までを対象に、診察や薬物療法・心理療法等だけでなく、集団療育や余暇支援など、同年代の子どもたちが集団で過ごすことのメリットを生かした治療を行っています。また、併設された特別支援学校で学校教育を受けることができます。

入院治療はお子さん一人一人の治療計画に沿って進められます。主治医、病棟スタッフを中心に定期的なカンファレンスを行うことで、治療の経過を確認し、今後の治療方針を決定します。

医師の他にも、看護師・保育士・心理判定員、薬剤師、栄養士など、多職種が連携し関わるチーム医療を実践しています。

退院に際しては、病棟スタッフ、ケースワーカーを中心に家庭や地元の学校、地域の関係機関と連携し、退院後の地域生活に繋がるよう心掛けています。



入院の具体的な手続きについては、こちらへお問い合わせください。

三重県立子ども心身発達医療センター 医療連携課

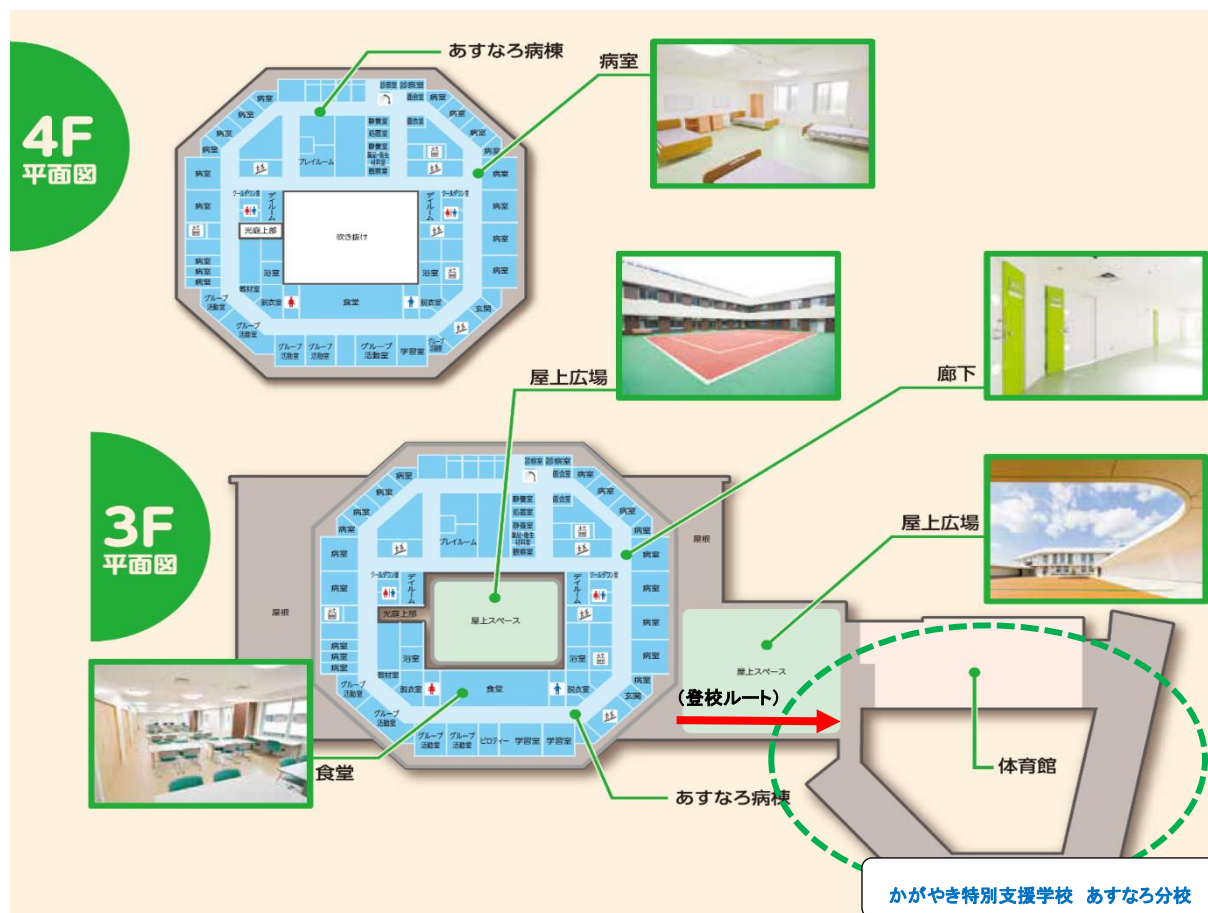
059-253-2000 (代表電話)

# 病棟について

対象年齢・性別などにより生活する病棟が分かれています。

\* 3階病棟：主に小学校中学年までの男子・中学生までの女子

\* 4階病棟：主に小学校高学年～中学生までの男子



## ※ご家族との面会・交流等について

入院中の面会・外出泊などの交流は、ご本人にとって最善のタイミングを計り実施できるよう、相談させていただきます。治療の状況に応じ、制限をさせていただくことがあります。ご家族のご協力をよろしくお願いいたします。



## 入院中の生活

病棟生活そのものが治療の一つと考えています。大まかな生活スケジュールに沿って、規則正しい生活を送ってまいります。

- 大まかな生活スケジュール（状況に応じて変更することもあります）

時間	日課	時間	日課
6:30	起床・洗面・身辺整理	15:00	下校・おやつ
7:00	朝食		入浴
8:00	登校準備	18:00	夕食
8:25	登校		自由時間
12:30	下校・昼食	19:50	小学生 就寝準備
12:50	登校	20:50	中学生 就寝準備
		21:00	消灯

## 集団療育について

病棟では子どもたちの社会性や人と上手に付き合っていく力を育てることを目的に、集団療育を行っています。年齢や発達に合わせた少人数での遊びグループから、入院児、職員が全員で協力して作り上げる大規模イベントまで、毎日さまざまな楽しい集団活動を企画しています。



グループ活動「増やしオニ」



グループ活動「水遊び」



冬遊び会「豆まきゲーム」



センター祭「よさこい踊り」

## 学校教育について

併設する「県立かがやき特別支援学校あすなろ分校」は、あすなろ病棟に入院する子どもたちが通う特別支援学校です。小学部・中学部からなり、それぞれの学力や特性に応じた教育を行っています。



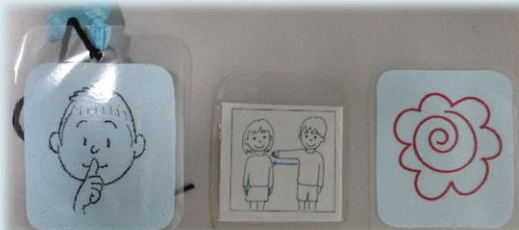
時間の経過、先の見通しを分かりやすくするため、タイマーを使用することもあります。



困った時、SOSを出しやすくするためのツールの一例



できるだけ刺激を遮断し、課題に取り組みやすくなるための空間作りなど、環境設定にも工夫があります。



適切な行動を促すためのカード。目で見て、ぱっとすぐに気づける、シンプルなデザインです。

## 医療と教育が連携してサポートします

あすなろ分校では、病棟スタッフと日常的に連携し、子どもたち一人ひとりが自分の願いや目標を達成できるように指導・支援します。

